

4年3組 社会科

そのとき海田の歴史が動いた！「地いきの発展につくした人々」

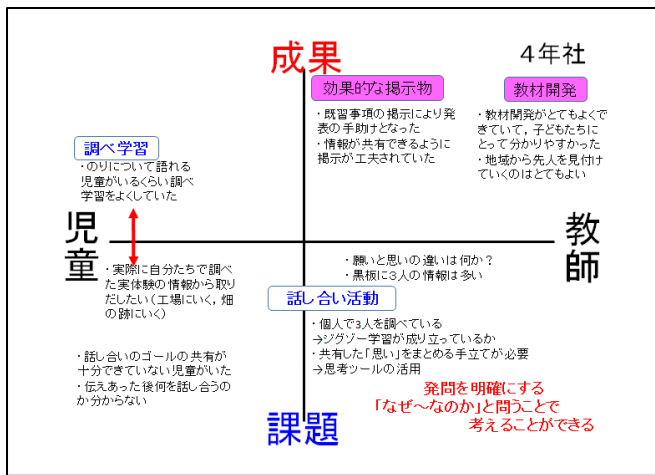
【成果】

- ・地域の先人を基に学習を進めていくという教材開発を行うことで、児童の主体性を引き出していた。
- ・効果的な掲示を行うことで、学習の見通しをもたせたり学習したことを想起させたりすることができた。

【課題・改善】

- ・何のために話し合いを行うのか話し合いの視点を目的を明確にしていくことが大切である。
- ・ジグソー学習を用いるのであれば、指導方法について十分に検討しておく必要がある。

【協議内容】



【指導助言】西部教育事務所 神崎 隆之 指導主事 様

- ・資質・能力と教科の関連を図りながら、学びのDPで単元を構成していたので、カリキュラム・マネジメントができています。
- ・児童の実態や課題をさらに具体的に見取り、分析し、具体的な手立てを考えることが必要である。
- ・協働的な学びを充実させるために、他者からの学びが自らの学びの深まりにつながっていくことを体験させる授業展開を心がけることが必要である。
- ・児童が自ら発信することができるように、教師が児童の思いを引き出していくことが大切である。

5年1組 家庭科

だしの達人になろう「食べて元気！ごはんのみそ汁」

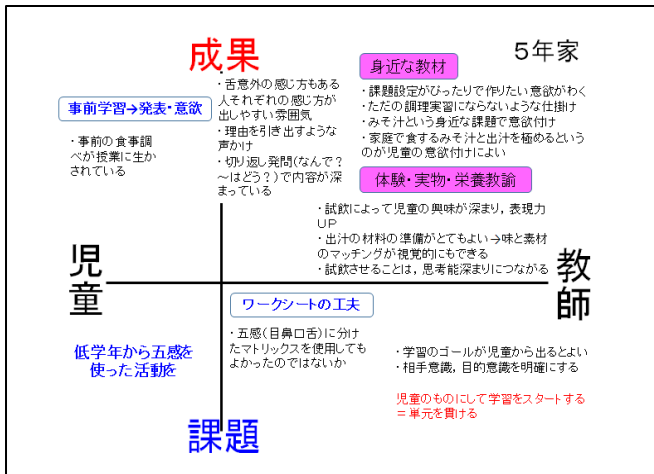
【成果】

- ・事前の食事調べを生かしながら、児童の意欲を高めさせるための手立てを行っていた。
- ・出汁の試飲を通して、必然的に出汁について交流することになり、交流することにより思考を深めることができていた。(出汁の出す順番、ワークシートの工夫、試飲の準備等)
- ・児童全員が学習に参加できるような手立てが多くあった。(事前の食事調べ、試飲、好みの出汁)

【課題・改善】

- ・「家族のために作って見たい」、「おいしいと喜んでもらいたい」等の目的意識、相手意識をさらに児童にもたせるための単元を通しての学習課題を児童主体で行っていく授業にしていくことが大切。

【協議内容】



【指導助言】 西部教育事務所 石本 有士 指導主事 様

- ・児童の食生活だけで食生活を改善するのは難しいが、児童にいりこ出汁がとれるように力を付けることで、中学校への学習へつなげていくことができる。二年間で計画的に学習を行うことが大切である。
- ・出汁で溶いたみそ汁と湯で溶いたみそ汁の飲み比べを行うことで、出汁を使ってみそ汁を作りたいという思いを引き出すことができる。
- ・次期学習指導要領に向けて、見通しをもった指導計画を立てる。(ア理解→イ工夫)